

❖ 科目名 Course Title			
ドイツ語 I-2			
❖ 担当教員 Instructor			
副島 美由紀, 杉浦 康則			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1, 2, 3, 4
❖ 履修可能人数 Capacity	5 (対面)	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class			

❖ キーワード Key Words			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
❖ 授業概要 Course Description			
<p>ドイツ語 I-1 に続き、ドイツ語の基礎的な力を身に着けることを目的とします。ドイツ語 I-2 は、前期の教科書の後半部分を使い、週 2 回 (火・木) の授業を行ないます。前期と同じく、聞き取りや読解の練習も織り込みながら、総合的なドイツ語力の向上を目指します。前期同様、積極的に授業に参加して下さい。前期に比べると文法項目の難易度は増しますが、ドイツ語で話せることが増えてくるので、楽しさも増します。後期もまた、ドイツ語を積極的に楽しく勉強していきましょう。</p>			
❖ 到達目標 Course Goals			
<p>ドイツ語 I-2 の達成目標は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ドイツ語の基礎的な文法・基本語彙を習得する。 ② 平易な文章を読むことができる。 ③ 平易な文章を書くことができる。 ④ 平易な発話を聞き取ることができる。 ⑤ 平易な発話を行うことができる。 			
❖ 授業計画 Course Schedule			
<p>1-4週：【現在完了】【副文】【過去形】 5-8週：【受動態】【zu不定詞】 9-12週：【形容詞】【再帰代名詞】 13-15週：【関係代名詞】【接続法Ⅱ式】など</p>			
❖ 成績評価 Grading System			
<p>授業回数の1/3以上欠席すると単位取得の権利を失います。小テスト、または中間試験・期末試験の結果を主軸として、授業での受講態度も参考材料としながら総合的に評価し、以下の基準により成績を出します。</p>			
❖ テキスト Textbooks			
『シュトラッセ・ノイ Ver.3.0』(新野守弘他著、朝日出版社、2,400円)			
❖ 参考書 Reading List			
❖ 準備学習 Homework			
<p>前期と同じく、予習と復習が大切です。特に後期は文法項目も読解文章も前期と比べると難しくなるので、毎回の復習課題を必ずこなし、理解できないことがないように、授業に臨んで下さい。予習による授業準備も必須になります。</p> <p>《その他の留意事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト付録のCD を繰り返し聞いて、口頭練習をすること。 ・テキストに出てきたキーセンテンスや重要単語を暗記し、日常でも使用できるようにすること。 ・普段からヨーロッパに関するニュースや本を読むことでドイツ語圏の文化に触れ関心を高めること。 			

❖ オフィスアワーOffice Hour
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
❖ 質問・相談への対応方法Contact Information
❖ 履修上の注意Notes
火曜と木曜の授業は連動しており、2単位は一括して出ますから各曜日もれなく出席すること。欠席した場合は必ず情報収集し、遅れを挽回して下さい。 尚、ドイツ語 I-2 はドイツ語 I-1 を修得済みでなければ履修できません。
❖ 備考Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外の人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。